

第1回 豊橋市市民協働推進審議会 議事録

日 時	令和3年5月27日(木) 10:00~11:30
場 所	ZOOMによるオンライン会議
報告者	豊田 健二
出席者	別紙のとおり
傍聴者	なし

1 開会

- ・欠席者 なし
- ・事務局から委員の半数以上の者出席が確認できたため本会議が有効に成立していることを説明
- ・今回の議事の内容は、公開とする。
- ・議事の進行について会長が行うこととなっているが会長選出される間、市民協働推進課長が代理で議事の進行を行うこととする。

2 議事

○市民協創部長あいさつ

○委員紹介

- ・事務局から資料1の説明を行い各委員からあいさつ

○事務局あいさつ

○豊橋市市民協働推進審議会概要について

- ・事務局より、資料2について説明。

○会長及び副会長の選出について

- ・事務局：会長、副会長については委員の互選となっているため推薦したい委員がいれば発言をお願いしたい。
- ・委員：会長には過去の会長の経験を鑑み愛知大学地域政策学部教授の菊地委員を会長へ推薦したい。
- ・事務局：先ほどの発言について賛成の委員は挙手をお願いしたい
(賛成挙手が過半数)
- ・事務局：賛成が多数だったので菊地委員を会長とすることで決定とする。菊地会

長にごあいさつと以降の進行についてお願いする。

- ・菊地委員：会長就任のあいさつ。今後の議事の進行を行うことを了承
- ・会長：副会長選出について委員の互選となっているが推薦したい委員等あれば発言をお願いしたい。
- ・委員：副会長には過去の審議会での活動を踏まえて自治連合会理事の高野委員を推薦したい。
- ・会長：先ほどの委員の発言について賛成の委員は挙手をお願いしたい
(賛成挙手が過半数)
- ・会長：賛成が多数だったので高野委員を副会長とすることで決定とする。高野委員にごあいさつをお願いしたい。
- ・高野委員：副会長就任のあいさつ

○審議会の運営について

※資料3に基づき、事務局が説明

- ・事務局：この審議会は、原則公開することとしている。ただし個人の権利・利害を侵害する場合、会議の運営に著しい支障をきたす場合等は、会議を非公開にする場合もある。会議終了後は審議会の概要を市民に提供するよう努めることとし、議事録要旨をホームページで公開していく。また、市民から傍聴の希望があれば傍聴要領を元に対応する。なお、本審議会は原則公開としているが、市民協働推進補助金の審査などについては、個人情報が含まれるため非公開として行ってきた。
- ・会長：説明にあったとおり今年度の審議会も従来までの取り扱いと同じ形とすることとしたいと思うが各委員から意見はあるか。賛成の委員は挙手をお願いしたい
(賛成挙手が過半数)
- ・会長：賛成多数のため、原則公開としていく。
- ・会長：議事録の署名は、会長と副会長を除き名簿順で2名ずつとしたい。今回は、平松委員と村松委員をお願いする。

○第3次豊橋市市民協働推進計画について

- ・事務局より、資料4について説明。

○つつじ補助金（後期募集）、わかば補助金募集について

- ・事務局より、資料5について説明
- ・令和3年6月1日から令和3年7月2日の期間でつつじ補助金と、わかば補助金の募集を開始する。今回令和3年6月からわかば補助金の募集を行った経緯について、昨年度12月から1月中の募集期間にした際に学校から12月から1月ま

での募集で4月からの事業が対象になる場合だと年度の切り替えを挟むため活動がしづらいという声があり6月からの募集とした。つつじ補助金については新たに活動を始める団体の掘り起こしのために後期募集を行う。第2回の審議会にてこちらの補助金の審査を行う予定となっている。審議会の前に委員者の元へ資料を送付し事前審査を行ってもらい審議会にて意見を述べてもらう。

- ・ 審査方法等について、事務局より説明
- ・ 委員：わかば補助金について、高校生の応募が少ない。一部の高校のボランティア活動は大変素晴らしいものがある。高校に対してアプローチしているのか。
- ・ 委員：昨年度のわかば補助金の件数は2件であったが、申請件数を増やすための努力を事務局はしているのか。
- ・ 委員：補助金の予算残額はいくらかあるのか。予算額などわからないと委員が学校などにアプローチすることができない。
- ・ 事務局：高校にはチラシの配布などを行っている。過去においても高校生団体が申請した事例は1件しかなかった。高校生の部分が弱いのは事実なのでこれから高校に対して積極的に働きかけたい。
- ・ 事務局：申請件数を増やす努力として、まず学校からの要望も多かった申請時期の変更を行った。（12月→6月へ）
- ・ 事務局：学校を個別に廻り、わかば補助金の説明を行っている。
- ・ 事務局：予算額については、確認してから回答する。
- ・ 委員：校区内の一部の高校に補助金の案内を行った。事務局も積極的に補助金の案内をしていただければと思う。

○令和2年度市民協働推進補助金事業報告会について

- ・ 事務局より説明
- ・ 事務局：新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、事業報告会は中止とする。代替事業として、冊子、HPの作成、パネル展示をおこなう。

○第2回 市民協働推進審議会について

- ・ 事務局：日程が調整でき次第、委員に開催日を通知することを伝えた。

○わかば議会について

- ・ 事務局より事業概要について説明。
わかば議会に参加する委員がいるので意気込みを語ってもらう
- ・ 委員：同世代の人たちとまちづくりについて話ができることに魅力を感じ

て応募した。

そういった機会は貴重なので大切にしていきたい。

- ・会 長：全体を通して質問はあるか。
- ・委 員：報告会についてパネル展示などやるだけで市役所は事業が終了したと思ってしまう。見た人が何かその事業に対して評価できるような仕組みを作り、見学者が参加できるような展示にしてほしい。
- ・事 務 局：ただ補助金を出すだけでなく、市民のなかで活動が広がっていくことが重要である。委員のご意見のとおり参加者が参加できる仕組みを取り入れたい。
- ・委 員：補助金を受けた団体が補助でどれだけ助かったかなどのコメントもあると良いと思う。
- ・委 員：パネル展示とホームページ公開は同日公開か。QR コードなどでホームページにアクセスしやすい仕組みを考えてほしい。
- ・事 務 局：展示とホームページは同日で公開する。QR コードについては使っていきたい。
- ・委 員：補助金の財源は寄附金から成り立っているのか。
- ・事 務 局：補助金は寄附金と税金を財源にしている。
- ・委 員：委員のみなさんの意見がとても良い意見が多くてありがたく思う。気づきがあれば行動することもできる。自治連合会などと連携していけると事業がよりよくなっていくのではないか。パネル展示を参加型にしていることはとてもよいと思う。事務局からいろいろと仕掛けていく必要がある。

3 閉会

以上をもって、本審議会を終了とする。

令和3年7月29日

議事録署名者

平松 由衣

村松 史子

第 1 回豊橋市市民協働推進審議会出席者名簿

(五十音順・敬省略)

NO	氏 名	選 任 区 分
1	菊地 裕幸	愛知大学から推薦 (愛知大学地域政策学部教授)
2	高野 英司	豊橋市自治連合会から推薦 (豊橋市自治連合会理事)
3	平松 由衣	豊橋市社会福祉協議会から推薦 (豊橋市社会福祉協議会職員)
4	村松 史子	豊橋商工会議所から推薦 (豊橋商工会議所女性会)
5	吉田 修也	特定非営利活動法人ビリーブ (豊橋市民センター職員)
6	丹下 佳子	公募
7	大谷 代里子	公募
8	山本 朋采	愛知大学から推薦
9	水野 有華	豊橋技術科学大学から推薦
10	永田 十晴	豊橋創造大学から推薦

※任期：令和3年5月10日～令和5年5月9日

《事務局》

市民協働推進課 課 長 榎本 陽子
主 幹 中澤 浩英
課長補佐 大漣 伸一
主 査 青木 岳茂
主 査 大谷 ゆき
主 事 豊田 健二